

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム 陽光の家

## 目標達成計画

作成日: 令和 3 年 2 月 19 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努める。	身体的虐待、精神的虐待ゼロを目指す。	・施設内での勉強会を行い、知識の習得に努める。 ・外部研修へ参加し、施設内にて報告を行い、情報の共有を行う。 ・不適切な言動、声掛けを行った場合は、その都度注意、指導を行う。	6ヶ月
2	35 (13)	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理者及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築き、火災等を未然に防ぐための対策を行う。	火災発生ゼロを目指す。	・定期的に避難訓練を実施する。 ・災害対策マニュアルを見易い所定の場所に設置する。 ・発火の原因となるコンセント等の漏電防止の為、定期的な点検を行う。	12ヶ月
3	41	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や習慣に応じた支援を行う。	体調不良による入院、脱水症状の入居者を出さない。	・毎食時の摂取状況、一日の水分摂取を記録し、把握する。 ・毎日朝にバイタル測定を行い、体調確認を行う。 ・毎月初めに体重測定を行い、体重の増減を把握する。	6ヶ月
4	45 (17)	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援を行う。	気持ち良く入浴が出来る様に工夫を行い、身体の観察を兼ねて皮膚の状態を把握し、健康管理に努める。	・季節を感じられる様に菖蒲湯やゆず湯を行う。 ・浮腫、かき傷、発赤等ないか、身体の観察を行う。 ・安全確保の為に状況に応じて介助及び見守りを実施する。	12ヶ月
5	49 (18)	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努める。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援を行う。	春夏秋冬、季節の行事を感じて頂く様に年4回は外出の機会を作る。	・ランタン祭り、花見、おくんち等の外出の機会を作る。 ・地域の行事、夏まつり等へ参加し、地域住民との交流を図る。 ・行事の都度家族への連絡を行い、参加を促す。 ・家族と本人のみでの外出(外食等)を支援する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。